

黒岩小学校だより

R4-6号

令和4年8月29日発行

生活実態調査の結果分析から

5月に実施した生活実態調査の結果報告がありました。分析を行ったのは早稲田大学・前橋明研究室で、本校児童の課題として特に以下の点が示されました。



- ・全学年で短時間睡眠となっている。
低学年は9時間30分、高学年で9時間が必要。
- ・毎朝きちんと排便できている児童がほとんどいない。
幼児で身につけるべき排便リズムが備わっていない。生活習慣の乱れの表れ。
- ・メディア漬け（テレビ・ビデオ・ゲームなど）になっている学年がある。
心身への影響を考えると、1日2時間が上限。
- ・戸外での遊びなどで体を動かす時間が少ない。
一番体を動かすべき放課後の時間に、ほとんど体を動かせていない。

生活リズムは、全てがつながっています。メディア漬けになれば、体を動かす時間が減り、疲れていないので夜更かしになり、朝なかなか起きられずに朝食が満腹に摂れず、朝の排便ができずに体の調子が上がらない。逆に、体をたくさん使えば、夜疲れてぐっすり眠ることができ、目覚めもすっきりで朝食をしっかり食べ、朝の排便ですっきりした気分で一日を過ごすことができる。「どれか1つを改善すれば全てが良くなっていく！」と、一点突破全面改善を早稲田大・前橋教授は訴えています。

では、何を改善すれば良いのか。前橋教授は、運動だと言っています。放課後の遊びやスポーツも大切ですが、登下校の徒歩通学が最も効果的だそうです。ハローウォーク期間中のように、学校まで歩くことを心掛けてみませんか。

今月の論語

しのたま　くんし　そ　げん　そ　こう　す　は

子曰わく、「君子は其の言の其の行に過ぐるを恥ず。」

[意味]

孔子先生が、おっしゃった。

「君子は、自分の言葉が自分の実際の行動以上に大げさになってしまうことを恥と考える。」

[解説]

口にするだけで何もしないのは恥ずかしいことです。言葉よりも、まずは実行しましょう。

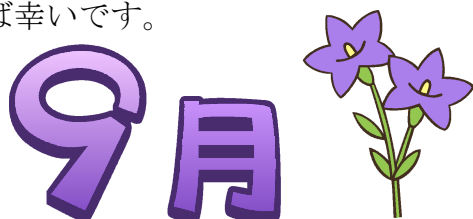
児童数確保に向けて取り組むべきこと

8月8日に開催した第3回黒岩のこどもの未来を考える会は、本校教職員も参加して意見交換会を行いました。今年のテーマは「児童数確保に向けて取り組むべきこと」です。今後の児童数の大幅な減少を見据え、何に取り組んでいくべきか、意見を出し合いました。出された意見を、以下に紹介します。

- ・学校の良さを発信する
異学年交流など小規模校の良さを活かす
地域の協力で様々な体験活動ができる
- ・特色ある学校づくり
一人ひとりに分かるまで学習させる（ICTの活用）
自然と触れ合う活動の充実
- ・行政と協力
移住促進 空き家への若者家族の誘致
特認校制度 町中心部から児童の受け入れ

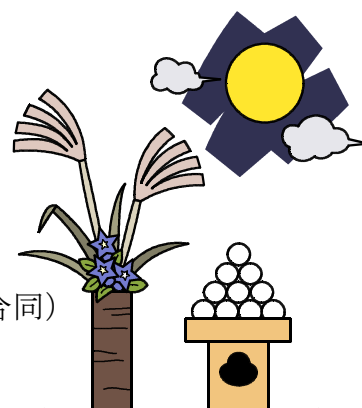


特に、情報発信の必要性が指摘されています。本校はSNS（Facebook）を使っている情報発信を行っていますが、まだまだ知られていないようです。関心のある方にご紹介くだされば幸いです。



の黒岩小学校

- 9月 5日（月）ハローウォーク（～9日）、委員会
- 9日（金）あいさつ運動
- 12日（月）クラブ
- 13日（火）読み聞かせ
- 14日（水）就学時検診
- 15日（木）アトリエ for キッズ（1・2年、保育園と合同）
- 16日（金）学びの作品化PJ③（5年）
- 26日（月）企画委員交代式
- 27日（火）朝の読み聞かせ
- 28日（水）いちご集会



-----きりとり-----
返信【黒岩小だより R4-6】 ご意見・ご感想をお寄せください。 お名前（ ）